



## 発表会は2曲目の振り付けに入りました！

2曲目の作品、『咲き誇る星 地球』には、活動の場は地球、国境なんてしらない生き物たちが次々登場します。鳥、魚、花、虫、そしてヒトも…。あまりにもすごい生き物ばかりが登場するのでこれはぜひ紹介したいと思い号外を出すことにしました。

### 空には鳥が

アネハヅルはヒマラヤを越える

鳥のように大きな羽で 空を自由に飛ぶことができたらいいなあ、とこどものころから思ってきました。残念ながらいまだにその思いは叶いません。時々飛ぶ夢を見るのですが、それはいつもなぜか地面すれすれを這うように低空飛行しているだけなのです。今回、担当する作品に出てくる鳥は 憧れのアネハヅルです。世界最小のこのツルは 国境なんてお構いなしに国を渡り、なんとヒマラヤ山脈を越えて行きます。渡りの目的は 越冬、食料の確保などでしょうが、どうして命をかけて 8000m の高さを越えていくかは明らかではないそうです。アネハヅルの祖先たちがかつて渡って行った その場所が盛り上がり山になったという説がありますが、現在の彼らの行動はその本能が残っているためらしいのです。作品では、アネハヅルたちはモンゴルを出発し 中国、ネパール、インドまでの旅をします。白い小さな雲を越え、ワシに襲われた時は風に助けられ、夜には月や星の間で休み、朝になるとまた飛び立ちます。気がつくとも雲を飛び越え高く高く飛んでいました、そんなお話を 若江岩田、山の街、加古川、西山教室のみなさんに踊ってもらっています。とても嬉しかったことがあります。「アネハヅルの踊りがしたいねん」と振り付けに入る前に話したら、次の週には自分できちんと調べ、アネハヅルのエキスパートになってきてくれた人が何人もいました。本当にありがとう！低空飛行の夢は 少しふわっと浮いたような気がしました。

かじり子

### 海には魚が

海に境界があるらしいのです。ここまではこちらの国、ここからはあちらの国、ここより向こうは公海。魚たちはそんな境界などお構いなく行き来をします。その中でもマグロは、カリフォルニアで印を付けたものが、日本で確認されたそうです。寝ている間も泳ぎながら、北太平洋を泳ぎ回っています。北からの魚ーニシン、イワシーと南からの魚ーマグロ、トビウオなどがこの海で、この魚たちと一緒に踊ります。

寺井美津子

海で泳ぐお魚さんたちには本当にいろいろな種類のお魚さんたちがいますよね。今回、マグロやイワシーなどの回遊魚たちは“この海”を目指し海流の流れてやってくる。この海には赤や青、黄のカラフルなお魚さんたちが泳いでいます。赤いお魚のアカイサキ、青いお魚のルリハタ、ウメイロ、黄色いお魚のチョウチョウウオ、どのお魚もカラフルで模様もとてもおしゃれです！

そんなお魚さんたちの所に勢いよく回遊魚たちがやってきて、どんなお魚もこの海であろうと関係ナシ！にみんな泳ぎます！

向井華奈子

### 土には花が

発表会の2作目の『咲き誇る星 地球』の「土には花が」のシーン、花にはもちろん国境はありませんから、どの花を代表にしようかと迷いましたが、やっぱり花の女王さまの「バラ」に登場してもらいます。実際にバラの歴史は古く 7000 万年前の化石から発見されているそうです。これには、驚きました。猿人は、500 万年前ですよ。様々な伝説も残っています。ギリシャ神話では、海の神様が、海の泡から愛と美の女神アフロディーテを誕生させたとき、大地の神様が、空から降らしてバラの花をつかって、その後アフロディーテの息子のキューピットのくちづけによって香りが生まれたそうです。その姿かたち、色、香りは民族、老若男女を問わず、世界の人々の心を魅了しつづけていますね。バラの誕生をギリシャとして、ルーマニア、ブルガリア、オーストリア、フランスの国境を越え、今や全世界に咲き誇っているバラと、国境なんてかまわず大地を潤す雨を、大久保、エコール・リラ、コープカルチャー兵庫の21名が踊ります。神戸文化ホールはバラの香りで満たされますよ！道端に、庭に、プランターに、公園に、どこか遠い国で生まれた時間を超えて今ここに一瞬の命を最高に輝かしく咲いてくれています。こんなにも美しいものが存在する地球から核兵器や、戦争、公害がなくなりますように。

金沢景子

### 土には虫が

オオカバマダラチョウは、アメリカ大陸を縦断するチョウなんですって！！

まず早春に、一代目のオオカバマダラが、メキシコ中部にあるシエラマドレ山脈のふもとからアメリカ合衆国南部まで飛び立ちます。彼らはそこで産卵し死にます。次に羽化した二代目のこどもたちがアメリカ中部まで行って産卵し、やはり死にます。そして次に羽化した三代目にあたるチョウたちが、さらに北上しカナダとの国境にあるエリー湖にたどりつきます。その三代目たちは、秋になると、一代目が出発したシエラマドレ山脈のふもとまで 4000 キロの道のりを気流に乗って一気に飛行して戻ってくるのだそうです。今回は、カナダから一気にメキシコまで選んで来る旅を踊りにしています。オオカバマダラチョウを、本部(金、土クラス)のジュニア生が踊り通します。

藤田佳代

### 土にはヒトが

ヒトのグレートジャーニー

ヒトのミトコンドリアの突然変異を目印にさかのぼって調べると、必ずアフリカ大陸に住むたった一人の女のヒトにたどり着くそうです。つまり、ヒトとしての一番最初の自分のルーツに行きつくわけです。その先祖集団の中からあるとき、アフリカを出発し、世界を目指すヒトたちが現れました。アフリカから中近東、そこからアジアへ向かうグループ、ヨーロッパへ向かうグループ。アジアを選んだグループは『黄色人種』に姿かたちを変えながら、十万年近い年月をかけて日本へ。そこからさらに、ユーラシアを北上しシベリアへ、氷河期のベーリング海峡を歩いてアメリカ大陸のアラスカへ、さらにアメリカ大陸を縦断し南端へ…。地球一周何十万年の旅。鳥や虫の動機は分かりませんが、ヒトの動機は分かる気がします。もう少し先を見てみたい。それだけだったのではないかなあ。発表会の踊りではこの部分は、民族ダンスになっています。佳代先生の振り付けですが、このグレートジャーニーを書きたくて書かせていただきました。ヒトってすごすぎる…。

菊本千永

## ブログははじめました

新しくブログを立ち上げました。まだ、2人ですが順次増える予定です覗いてみて下さい。

藤田佳代(今日のダンス) <http://blog.so-net.ne.jp/moderndance>

金沢景子(藤田佳代舞踊研究所だより) <http://thank000.blog115.fc2.com/blog-entry-1.html>

## 八尾養護学校の先生 みなさん ありがとうございます

### リズムダンスのワークショップを終えて

大阪府立八尾養護学校 内海 雅子

本校は大阪府八尾市、いわゆる河内音頭で有名な大阪の中河内地区に位置し、おもに知的障害のある子どもたちが通学している特別支援学校(養護学校)です。今年、創立40周年を迎える本校は、東に生駒・信貴山連峰をのぞみ、校内には大きな樹木が木立ち、緑豊かな学校です。小学部・中学部・高等部に在籍する子どもたちは360名あり、10台のスクールバスや、自力で近鉄電車や近鉄バスを利用して、毎日元気に通学しています。このたびご縁あって、高等部2年生を対象に、藤田佳代先生とスタッフのみなさんのご指導によるダンスのワークショップが5月15日・5月22日・6月5日のそれぞれ午前中の1時間、3回にわたって実施されました。

この事業は、大阪府の文化・スポーツ振興室がNPO関西舞台芸術研究所と連携して、3ヶ年計画のモデル実施として企画プロデュースしている事業で、文化を通じて次世代育成を図るために、大人の入り口に立ち、将来について考える時期にきた多感な高校生を対象として実施しています。

高校生の心豊かな感性を育むとともに、文化・スポーツの裾野の拡大をめざすために、プロの芸術家やスポーツ選手などが学校に出向き、授業の中で、講義やワークショップを行う感動体験型のモデル事業です。また、今後、さまざまな学校現場で、同様のとりくみを実施する際に活用できるようなプログラムの作成も趣旨のひとつです。そのモデル実施校として、本校が選ばれ、藤田佳代先生やスタッフのみなさんにワークショップしていただく機会を得ました。それでワークショップ実施に先立ちまして、4月15日に原田の森ギャラリーの講堂で開演されましたダンス公演を観覧させていただきました。安田蓮美さんをはじめとし、ダンス仲間のみなさんが楽しくいきいきと踊っておられる姿を見せていただいて、本校でのワークショップではぜひ『全部抱きしめて』を教えていただこうと、その時勝手に決めてしまいました。そして藤田先生に初めてご紹介いただいたその場で、不躰に私の方からお願いした次第です。その後、5月13日に本校の職員数名と、先生のスタジオを訪れまして、2時間近く『全部抱きしめて』のレッスンをさせていただきました。このところ、運動不足気味の私は顔を真っ赤にして、汗がほとほと状態でした。必死でみなさんの動きについていくのが精一杯で楽しくいきいきと踊っておられたダンス仲間のみなさんとは大違い！でした。

そしていよいよワークショップ本番の5月15日です。

タイトルは「ダンスを楽しみ、心もからだも健康になろう」です。内容はもちろん『全部抱きしめて』のリズムダンスです。

受講生徒は、高等部2年生全員の47名で、体育の時間(午前11時～12時)に、本校体育館で行われました。ご紹介やあいさつもそこそこに、さっそく「いってみよう」という感じで、講師の先生がたの熱い手ほどきが始まりました。生徒たちはためらう暇もなく、藤田先生のお声にこたえて、スタッフのみなさんの動きに合わせて、見よう見まねで、必死でとりくんでいました。でもスタッフのみなさんが横についてくださったり、個々にお声をかけてくださったりするので、けっこう甘えてワーワーと自分勝手なことも言いながら、なごやかに楽しくとりくんでいました。途中、クラシックバレエ的なウォーキングやスキップも教えていただきました。ほぼ60分間、休憩なしで踊り続けた生徒たちは、もちろん汗だくでした。ふだんの授業とはひと味ちがった雰囲気、生徒たちは思わず引き込まれ、汗をかきながらも笑顔で、楽しい体験ができました。ワークショップの終わったその日の昼休みに、一部の生徒に感想を聞いてみると、「楽しかった」「しんどくない、だいじょうぶ」という返事がかえってきました。

2回目の5月22日は、そろそろ日中の気温が25度を超え、夏日という頃で、空調のない体育館は蒸し暑くなります。また体温調節のむずかしい生徒や健康管理に配慮を要する生徒が多いので、ウォーミングアップとして、ウォーキングやランニングを最初とついで、間に水分補給のお茶タイムをはさむことにしました。1週間まるまるあいてしまったにもかかわらず、生徒たちはダンスの動きをよく覚えていました。それもそのはず、みんな楽しかったのでも、とても印象的で楽しみにしていたのです。中には廊下などですれちがうと、『全部抱きしめて』のサビの部分で合言葉のようにポーズする生徒もいました。それでいっそう自信をつけた日でした。

そして3回目の6月5日は、残念ながら、もうワークショップ最後の日でした。各クラスごとにダンスを踊って、鑑賞しあう発表会をしました。前や横について、スタッフのみなさんが踊ってくださると、たいへん心強く、自信をもって踊れるのですが、それがないと途端にシュンとしてしまうから不思議です。

でも短期間のワークショップでしたが、ほんとにいい体験をさせていただきました。講師の先生がたには、遠路はるばる神戸より、3回、3日にわたってご来校いただき、充実したワークショップを受講体験させていただきましたこと、生徒たちと職員を代表いたしまして、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。そして藤田佳代舞踊研究所のますますのご発展・ご活躍と、先生がたのご健康を心よりお祈りいたしております。

### ダンスワークショップを終えて 高等部2年生みんなからのひとこと感想文

\* 誤字・脱字がありますが、想像しなから読んであげてください。

「ぜんぶだきしめてをおどりました。たのしかった。」「むずかしかったけど、たのしかったです。ありがとうございます。」「ありがとうございます。」「ありがとう」「またきてね」「とくにありません」「楽しかったです。ありがとうございます。」「ダンスがよかったのです。」「すごく楽しかった。またぜひこの学校に来てください。」「ダンスをおどりました。うれしかったです。」「ありがとうございます。」「たのしかった よくなた ありがとう」「まあまあ楽しかった。」「楽しかった。ありがとうございます。」「ダンスを教えていただき、ありがとうございます。また一緒にダンスをしたいです。」「ありがとう」「ダンスをがんばってよくできました」「ダンスがじょうずになったので、ありがとうございます。」「ありがとう」「ありがとう」として、「とてもった」「初最初はとってもむづかしかったけど だんだんと出来るようになりました。またお教えてもらいたいし また来てもらいたです。ありがとうございます。」「

追記:生徒にはアンケートで「今回、おせわになったダンスの先生がたに、お礼や感想のおてがみを書いてください。」という問いかけで、書いてもらいました。それで書いてもらった分はすべて載せています。生徒自身の字体も見ていただけたら、もっと味わい深いのですが、素直なお礼の気持ちを、みんなとててもいいな字で書いていましたことを、お伝えしておきます。

## 観にきてください

### ピッコロフェスティバル 2007 8月11日(土) 2:00~2:15 ピッコロシアター

今年もピッコロフェスティバルの季節がやってきました！今年も新メンバー2人を加えたジュニア舞踊団が踊ります！！

毎年、ピッコロフェスティバルでは新作を踊ります。今年はメンバーの長谷川千夏も振付をしています。音楽は吉松隆さん作曲の“FUZZY BIRD”という曲で、サクソフオンのとてもすてきな曲です。この曲は、サクソフオン奏者の西本淳さんが6月のコンサートで演奏されていて、とてもすばらしかったので“ぜひこの曲で踊りを！！”ということで今回、この曲で鳥をテーマにした作品、「FUZZY BIRD」を踊ります。

みなさんお誘いあわせのうえ、ぜひぜひピッコロフェスティバル2007におこしください！

向井華奈子

ピッコロみたいな舞台に出る事は私自身、初めての体験で不安な気持ちでいっぱいですが、でも、こういう機会を大切にこれから積極的に参加していき技術的にも精神的にも成長していきたいと思っています。

西津 華世

### DANCE BUQUET 8月26日(日) 4:00~5:30 本部スタジオ

チラシもチケットもありませんが、本部スタジオにさえきていただければとても暑い稽古場ですが、どなたでも観ていただくことができます。もちろん、作品を創って発表しに来て下さるのも大歓迎です。ぜひ一度、来て下さい。お待ちしております。

(編集後記に代えて) 菊本千永